



あと一步の向上に向けた取組

函館市立宇賀の浦中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

1. 「自ら学ぶ力の育成」を研究主題として「自己評価表」や「グループ学習」を切り口として学習意欲を高め学力向上を目ざした。あわせて授業評価を実施し、成果と課題を把握し、検討・改善を定期的に図ることも目ざした。
2. TT 授業と一部習熟度別授業を実施し、授業理解が遅い生徒や遅れがちな生徒への個別指導を充実させて学力向上を目ざした。

2 取組の概要

1. 校内研究からの取り組み

・学力向上には生徒が「自ら学ぶ力」の育成が必要とし、授業において自分を振り返る「自己評価表」や仲間の支えや助言が有効に作用する「グループ学習」を活用し取り組んだ。

その検証として定期的に授業評価を実施し、実施した授業の効果や問題点を把握し、検討し改善に結びつけていった。これらの評価から新たに家庭学習の不足が学力向上を阻む大きな要因と考えられ「家庭学習のてびき」を作成し全校に配布し、家庭学習定着への足がかりとして取り組んだ。



2. TT 授業と一部習熟度別授業の実施

・全国学力学習状況調査結果や CRT 検査結果から本校では、基礎的・基本的内容の定着に多くの課題を抱え、少人数や個別指導によるきめ細かい対応が求められている。そこで特に系統的習得が必要な英語・数学での学力差が大きく、全学年での TT 授業や生徒選択ではあるが一部習熟度別授業（数学）を実施している。

・不定期ではあるが放課後の学習会や長期休業中の学習会を開催したり、チャレンジテストに挑戦し課題把握とともに補充学習や学習習慣の定着にむけて取り組んだ。

3 成果（○）と課題（●）

○「グループ学習」では生徒同士の効果的な関わり合いの中で、主体的に学習に取り組む姿勢が見られたり、「自己評価」の活用は、授業理解の程度や情意面での達成感等を見取り意欲付けが図られるという成果が見られた。また TT 授業等によるきめ細かい指導により、生徒のわかる実感をもち学習意欲の向上を図れることが評価等で見とることができた。

● 課題としては効果的なグループをリードするリーダーの育成や、適切な自己評価を行うための自己評価カードの工夫改善、また学校での学習に生きる家庭学習習慣の定着をどう図るかが今後の課題である。